

**2021年度 第2四半期**

# 決算説明資料

(ハイライト情報)

**2021年10月26日**

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。本資料において当社の将来の内容・業績を保証するものではありません。

**蝶理株式会社**

## 決算概要のポイント

～中期経営計画「Chori Innovation Plan 2022(CIP2022)」第2年度～  
新たなステージ「経常利益100億円台常態化」の早期到達に向け、順調に進捗

### ▶業績概要

前年同期比大幅増収・各段階利益で大幅増益。

- ・繊維・化学品・機械の全セグメントで増収。化学品市況の回復が牽引。
- ・経常利益53億円、四半期純利益40億円は上期過去最高益を更新。

Cf. 経常利益ROA : 9.0%、ROE(当期純利益) : 13.1%

### ▶財務基盤

自己資本比率 51.1% 高水準を維持

### ▶株主還元

中間配当42円/株 実施(前期中間配当14円/株)。

期末配当予想42円/株と合わせ、年間配当予想84円/株⇒配当性向30%

### ▶トピックス

#### ①繊維事業の大型M&Aを実行

繊維商社の(株)スミテックス・インターナショナル(2020年度 年商344億円)を子会社化。

2021年度第1四半期末にB/S連結、当第2四半期からP/L取込み開始。

#### ②新市場区分

東京証券取引所の新市場区分(2022年4月から適用)は「プライム市場」の上場維持基準に適合。「プライム市場」選択を決定し、東京証券取引所へ申請。

上場子会社として、1)独立社外役員の比率1/3以上を確保、2)ガバナンス委員会(独立社外取締役が過半数)を設置済み。

## 業績内容（前年同期比）

## POINT

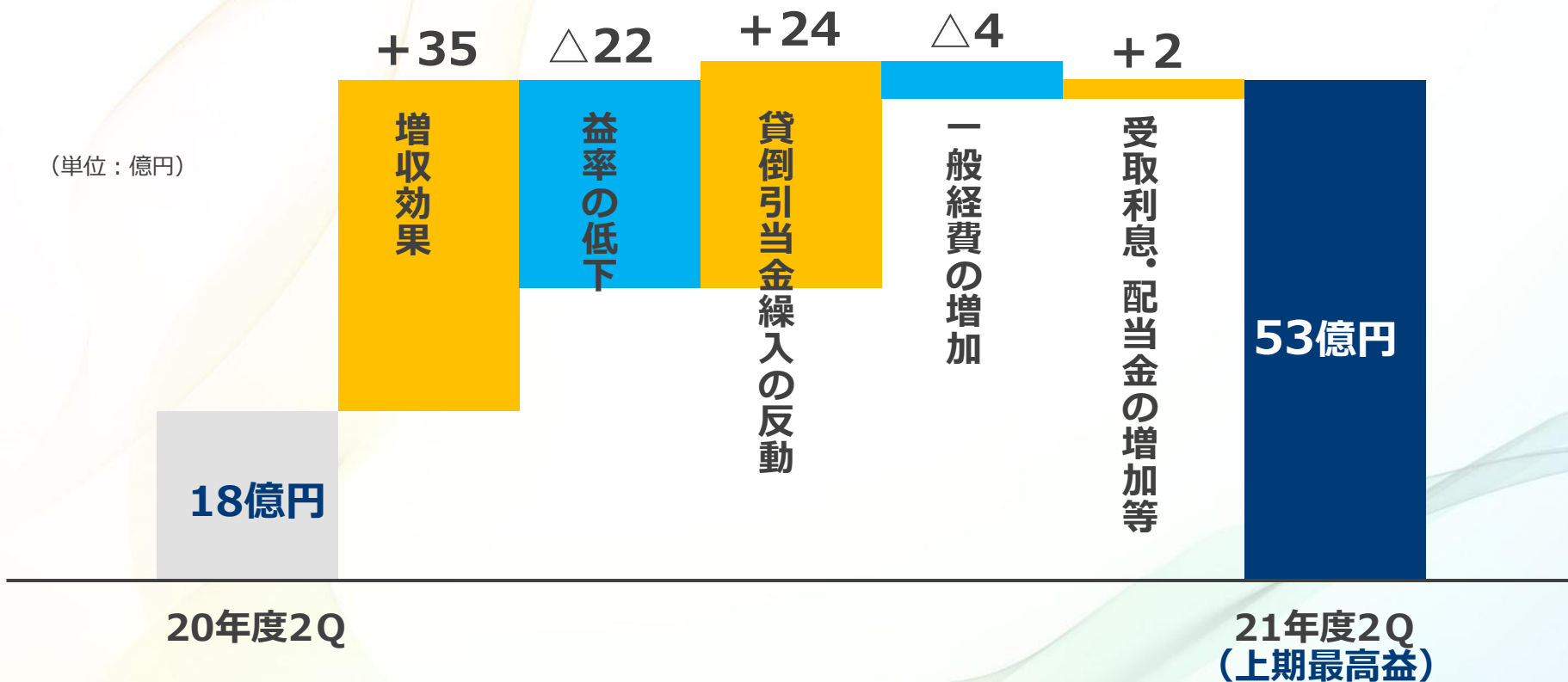
- 新型コロナウイルス感染症の再拡大・長期化により国内・世界経済は不透明な情勢下で推移。国内では製造業は回復を見せるも、衣料分野等の消費市場は依然低迷。
- 売上高は化学品市況の回復等により大幅増収。増収効果に加え、前年同期に計上した貸倒引当金繰入額(当期なし)の反動により、化学品を主に大幅増益。  
(中国債権問題は2020年度に全額引当処理済み)

(単位：億円)

	20年度 2Q	21年度 2Q	増減額	増減率
売上高	1,022	1,300	+279	+27.3%
売上総利益	130	143	+13	+10.1%
販売費及び一般管理費	114	95	-19	-16.7%
営業利益	16	48	+32	+201.3%
経常利益	18	53	+34	+188.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3	40	+37	+1,425.5%

# 経常利益の増減要因

(単位：億円)

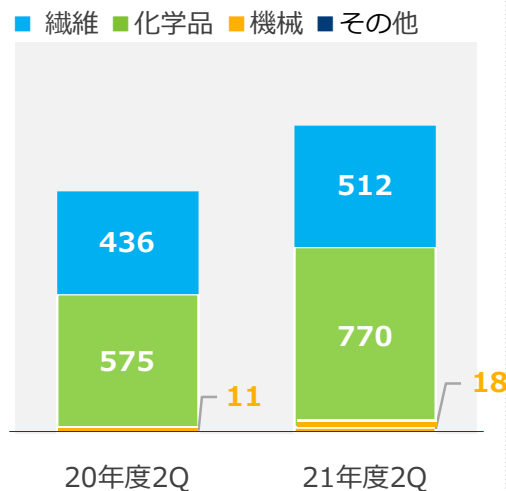


## セグメント業績

## 売上高

(単位：億円)

	20年度 2Q	21年度 2Q	増減額
繊維	436	512	+77
化学品	575	770	+195
機械	11	18	+7
その他	0	0	+0
合計	1,022	1,300	+279



## 繊維…増収減益

堅調

合繊原料・衛生材

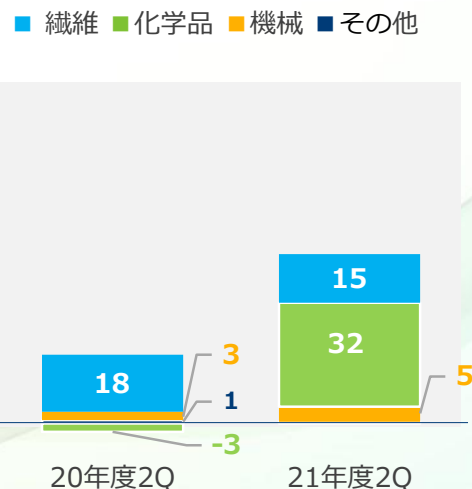
低調

国内衣料関連

## 経常利益又は損失

(単位：億円)

	20年度 2Q	21年度 2Q	増減額
繊維	18	15	-2
化学品	-3	32	+35
機械	3	5	+2
その他	1	0	-0
合計	18	53	+34



## 化学品…増収増益

堅調

ファインケミカル  
有機化学品

復調

電子材料

## 機械…増収増益

堅調

車輛

(参考) 取扱高 183億円

\* 「その他」には調整額を含んでおります。

\* 20年度2Qの化学品には貸倒引当金繰入24億円を計上しております。

## 形態別売上高

## POINT

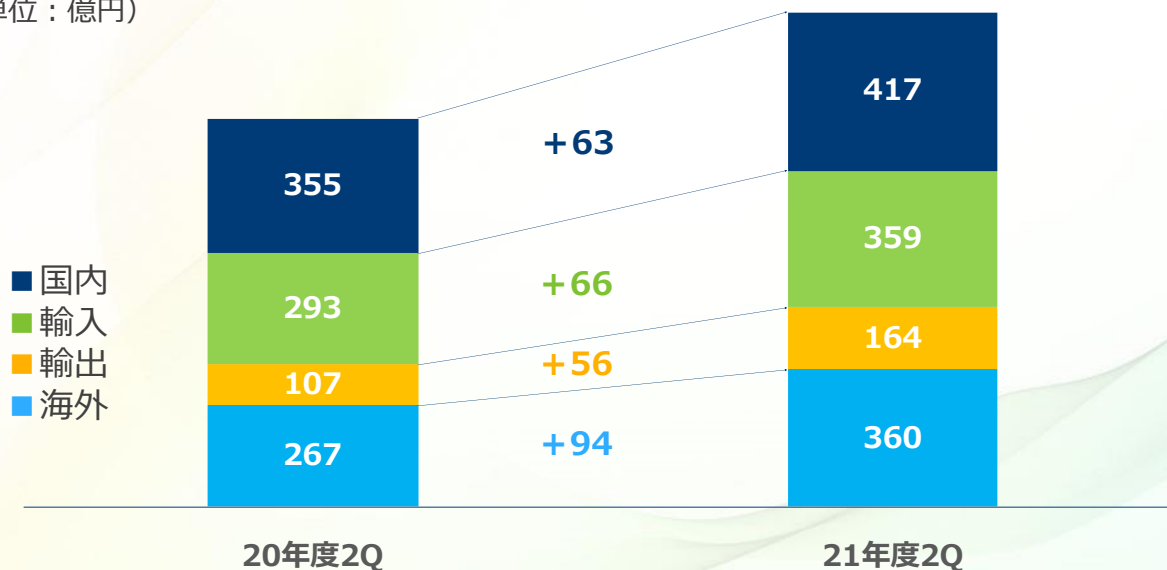
- 貿易比率 : 67.9% (前年同期比+2.6%)
- 国内売上高 : 繊維・化学品ともに増収。
- 貿易取引 : 全セグメントにおいて増収。

売上高 1,022  
貿易取引 667  
(貿易比率) (65.3%)

売上高 1,300  
貿易取引 883  
(貿易比率) (67.9%)

売上高 +279  
貿易取引 +216  
(貿易比率) (+2.6%)

(単位：億円)

国内  
売上高日本国内仕入の  
日本国内への売上額輸入  
売上高海外から  
日本国内への  
売上額輸出  
売上高日本国内から  
海外への  
売上額

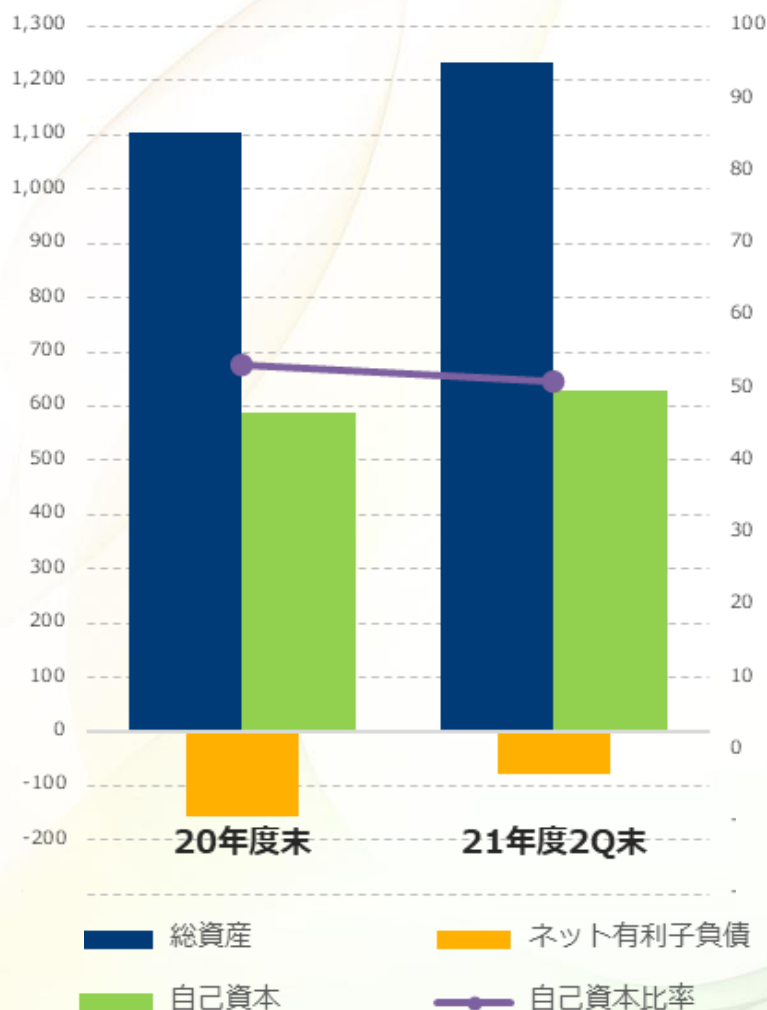
貿易取引

海外  
売上高海外取引の  
売上額

## 財政状態

(単位：億円)

(単位：%)



## 財務健全性

(単位：億円)

	20年度末	21年度 2Q末	増減
総資産	1,106	1,231	+125
ネット有利子負債	-155	-79	+77
自己資本	588	630	+42
自己資本比率	53.2%	51.1%	-2.0%

## 収益性・資本効率

	20年度末	21年度 2Q末(注)	増減
ROA (経常利益ベース)	4.1%	9.0%	+4.9%
ROA (当期純利益ベース)	1.1%	6.8%	+5.7%
ROE (当期純利益ベース)	2.2%	13.1%	+10.9%

(注) 年間ベース

## キャッシュ・フローの状況

## POINT

- 営業CFは売上債権・棚卸資産の増加により、-26億円。
- 財務CFは配当金の支払等により、-7億円。
- 現金及び現金同等物は151億円と高水準を維持。

(単位：億円)

	20年度 2Q	21年度 2Q	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	12	-26	-37
投資活動によるキャッシュ・フロー	-5	4	+10
財務活動によるキャッシュ・フロー	-7	-7	+1
換算差額	-1	3	+5
キャッシュ・フロー合計	-2	-25	-22
現金及び現金同等物の四半期末残高	127	151	+24



## 2021年度業績予想

## POINT

- 中期経営計画「Chori Innovation Plan 2022」を着実に推進。  
 経常利益は100億円を臨む。経常利益ROA：9.0%、ROE(当期純利益)：11.0%  
 Cf.2022年度(最終年度) 経常利益計画110億円
- 当第2四半期における通期予想進捗率は、各段階利益ともに50%を超過。

(単位：億円)

	20年度 通期実績	21年度 通期予想	増減額	増減率	21年度 2Q実績	通期予想 進捗率
売上高	2,162	2,800	+638	+29.5%	1,300	46.4%
営業利益	37	95	+58	+159.3%	48	50.7%
経常利益	47	100	+53	+114.8%	53	52.7%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	12	68	+56	+445.2%	40	58.6%

## 2021年度配当金

### ①配当の基本方針

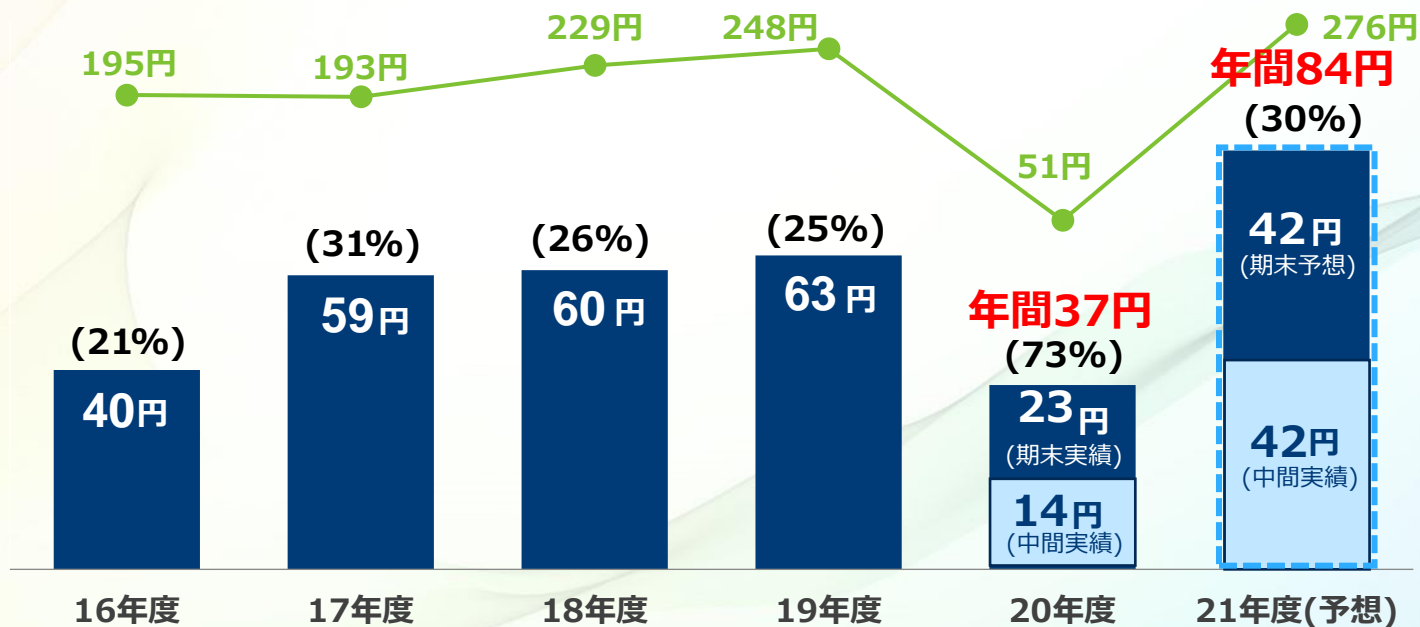
- ・成長戦略への投資資金の確保に留意しつつ、機動的な利益還元と経営・財務の安定性確保の観点から親会社株主に帰属する当期純利益の水準に応じた業績連動型配当を実施。
- ・配当方針：2020年度から配当性向を25%以上から『**30%以上**』へ引き上げ。

### ②年間配当予想

2021年5月11日公表の通期業績見通し及び上記配当方針に基づき、年間84円の見通し。

### ③1株当たり配当金推移(年間)

- 配当金 ( ) 配当性向
- EPS：1株当たり当期純利益



あなたの夢に挑戦します。

蝶理株式会社